

平成 26 年度第 3 回 流山市環境基本計画策定部会 議事録

平成 26 年 5 月 26 日 (月) 13 時 30 分開会 16 時 30 分閉会

出席委員：

吉永明弘部会長、和田登志子副部会長、新保國弘審議会会長、
秋元五郎委員、中大路早智江委員

事務局（環境政策・放射能対策課）：

片浦係長、遠藤副主査
リジオナル・プランニング・チーム（コンサルタント）1 名（内藤）

【計画案について】

発言者	要旨
事務局	(13 頁・基本目標 4 の表記修正について説明)
部会長	内容はよいと思う。方針の書き方について、「安心、健康、快適に」と並んでいるところが気になる。
委員	本質的な意味で汚染がなくなれないということはわかったが、タケノコ出荷制限の状況を見ると、「汚染」と言わないのはきれいごとに過ぎるような思いもある。
委員	放射線については、国の基準、方針によるもので、ここで市と話す内容とはいえない。
部会長	先に指摘した基本目標 4 の方針について、「放射性物質等の監視・対応を行い、快適な生活環境を維持し、安心、健康に暮らせることを」としたらいかがか。
全員	(合意)
委員	庁内調整での意見として出ている光化学スモッグの説明では、オキシダントの詳しい解説を書くことにならないか。
部会長	ここではなく、13 頁の市の取り組みに、外遊びを控えるよう呼びかけるといった内容を掲載してはどうか。
副部会長	14 頁で光化学スモッグの枠をつくるならば、被害の症状と対応方法を示せばよいと思う。
コンサル	光化学スモッグは広範囲に発生し、化学反応や気象も影響する問題のため、発生源対策が難しく、メカニズムを解説するのも簡単ではない。
事務局	放射能と PM2.5 は比較的近年の問題でもあり特別に扱っている。光化学スモッグは重要な問題ではあるが、以前より対応を行っている事項である。
部会長	放射能などと並列に扱うのではなく市の取り組みの中で扱ってはいかがか。
全員	(光化学スモッグについては、市の取り組みに記載する旨で合意)
事務局	(17 頁の修正について説明) 前回審議会では、表題と内容が整合していないとの意見があった。また、その後の内部調整で、基本目標 5 の市民・事業者へのお願いの中に事業者に関するものが無いとの意見も出ている。
委員	下水や浄化槽についての記載も残っているが記載事項が増えている。
部会長	基本目標 4 は対象とする範囲が広いので、一つの事項のみを扱うと偏ることも考えられるので、これはこの表現で良いと思う。事務局が言う事業者についても触れてある。
委員	下の苦情処理件数の表を見ると、雑草樹木に関する苦情が多いようだ。
事務局	担当係に確認したところ、隣家等の樹木繁茂などが件数としては多い。事業者の騒音・振動・悪臭は、件数はそれほどでもないが、解決が難しく時間もかかるケースが多いと聞いている。
全員	(基本目標 4 に関する部分について、代案に差し替える旨で合意)
事務局	(19～20 頁の修正について説明)
部会長	この案のように、3 計画のみとしたほうがよいと思う。図がひとつですっきりした。

副部会長	生活排水対策計画を読んだが、この3計画と同じレベルではないのでこの案でよいと思う。基本目標4は広範囲にわたるもので、生活排水対策計画はそのうちの水質に関するもの。他の大気や騒音・振動対策などの基本目標4全体を推進する計画ではない。
部会長	3つの実行計画とは扱いが異なるだろう。3計画の他にこういった計画があると書いても良いが、1ページの位置付けにもある他の関連計画を全部書くことにはならないだろう。敢えて外した理由を書かなくてもよいと思う。
委員	国の第四次環境基本計画では安心・安全が加わったが、市としてはどう考えるか。
事務局	ベースの部分ではある。都市整備や防災等になると思うが、環境のこととして扱うことは難しいと考えている。
コンサル	震災と原発事故を受けて、国（環境省）がそのような対応を行った。自然災害は自然とどう付き合うかというものなので、本来的には環境の視点で捉えられる。もうひとつは、公害や放射性物質に関する健康面の安全・安心である。
部会長	19頁図中で、「子どもたち」「森のまち・流山」と修正。
副部会長	19頁の文面について、太字や見出しを使って、わかりやすくしてほしい。図にもタイトルが必要。
委員	年表はわかりやすいからあっても良い。
副部会長	基本目標1、2、3との対応があり、4や5はないことの説明はどう考えたらよいか。国の環境立国戦略からくるものなのか。
コンサル	国が示した自然共生社会、低炭素社会、循環型社会に対応して、市も重点的に取り組むという意味である。
事務局	現在の市の環境施策の重点分野となっている3つの実行計画を、本計画の中で再度位置付けるということでもある。
コンサル	基本目標に関しては、これら3計画よりも幅があり、3計画だけを推進するというのではない。また、基本目標4に関しては、法や条例など決められた制度に従って行う部分が大きく、特に実行計画を策定して何かを行うような状況にない。
部会長	各基本目標の頁にここへの参照が書かれており、この図で問題はないと思う。
副部会長	タイトルとして、以前の案の「環境基本計画に基づく実行計画等と重点施策」がわかりやすい。
委員	明確に「重点取り組み」だとわかるようにしたほうがよい。
委員	一番言いたいことが最初にないため、わかりにくくなっている。20頁の図を前（19頁）へ移動し、それを説明するために過去の流れを付けるようにしてはどうか。また、基本目標4、5との対応がないことの説明も加える。
副部会長	19頁は文章から始まっているので、内容がつかみにくい。図が最初にくるとよい。基本目標5は（1、2、3とは）視点が違い、全部を支えるものと思う。
事務局	19頁と20頁の内容を入れ替える。
部会長	IVの見出しについてはどうか。
委員	「環境基本計画に基づく実行計画」ではどうか。3計画を推進するという意図にも合致する。
副部会長	「環境基本計画に基づく実行計画の更なる推進」ともいえる。
部会長	「環境基本計画に基づく実行計画とその推進」ではどうか。
コンサル	「環境基本計画に基づく実行計画の推進」ではどうか。
全員	（「環境基本計画に基づく実行計画の推進」で合意）
部会長	他の修正箇所について、順に確認を。
副部会長	4頁の小さな図で、江戸川がすぐにわかるように。
部会長	大きい地図の「江戸川」の文字をもっと大きく。
委員	三本松古墳の開発について確認し、対応されたい。
副部会長	6頁下段の解説は、「市民の憩いの場となっている利根運河が」から始めてはどうか。
委員	そのようにして、土木遺産の部分はなくしてよい。利根運河の写真は、自然環境らしい別のものを提供するので、検討されたい。

部会長	各基本目標のイラストに追加されたカテゴリについてはどうか。方針や施策の方向と重複するように思う。
全員	(カテゴリを付けない旨で合意)
副部会長	12 頁の 3R の図について、左上に最優先があつて、右下へ下がってくるようになるとよい。
部会長	図の意図は、これまではリサイクルばかりだったが、今後はリユーズ・リデュースを高めようということで、現状には合致していると思う。求める意識としては、副部会長のいう通りである。
委員	この図でよいと思う。
事務局	図 2 案を比べて検討する。
委員	16 頁のグラフについて、冷蔵庫のこととわかるタイトルに。
副部会長	最小値と最大値と 2 つあるとわかりにくい。
コンサル	元のデータが入手できたとしても、複数の機種のを単純平均することはできないので、現状のまま引用がよいと考える。
部会長	年表について、宇宙船地球号のアルファベット誤変換を修正。国や世界で現在動いている部分に対応を。名古屋議定書だけでなく愛知目標も記載。「環境影響評価法」と修正。
副部会長	平成の始めから環境基本条例制定までの間に、市の動きを何か書けないか。市の動きの最後には、本計画策定についても記載。
委員	平成 6 年に、環境団体と行政が集まって、最初の環境シンポジウムを開催した。平成の始めに常磐新線の法律（一体化法）が定められたことから、色々な動きが起こった。
部会長	アースデイと同様に、イベントとして、二重枠の四角でそのことを記載してはどうか。
事務局	いただいた意見をもとに年表に追加を行う。
全員	(6 月 23 日に部会を開催し、図版を含めて審議会への案を最終確認することで合意。その後の調整で 6 月 16 日 (月) に日程変更)

< 部会の今後の日程 >

~~6 月 23 日 (月)~~ 6 月 16 日 (月) 13 時 30 分～ 305 会議室

< 審議会の今後の日程 >

6 月 30 日 (月) 15 時～ 委員会室